

立川ろう学校の大活躍！



Tachikawa School for the Deaf

## ■ 「Antenna で広がる世界」

「Antenna」(オンテナ) というものをご存知でしょうか？

今、富士通が2020年、さらにその先の未来に向けて開発をすすめている「音」の強さを「振動」と「光」に変える装置です。大きな音(声)は大きく振動します。「Antenna」はろう学校に通う聴覚障害の幼児・児童・生徒にとっては様々な場面で活用できる可能性を持っています。今回は体験として一日使用させていただきました。

「Antenna」でできることは基本的に3つあります。1つ目は、本体マイクで拾った音を振動と光に変える。2つ目は、遠隔マイクでとった音や声のみを本体に振動で伝える。3つ目は、ボタンを押すと遠隔で本体に振動を伝える、というものです。

例えば音楽で「リズムを合わせて太鼓をたたく」ということをする時に、今までは聞こえる教員が太鼓のリズムと一緒に手をたたき、または指で1・2・3・4のカウントをとっていました。

「Antenna」を活用することで教員がマイクボタンをリズムに合わせて押すことで、遠隔振動でリズムがわかります。また、教員が手本を行うことで、正しいリズムを振動で体感できます。生徒も「今までよりもリズムがとりやすい」との感想が出ました。高等部では体育祭での学年対抗のダンス練習でも使ってみました。複数の曲を使ったダンスでも、リズムを変えて振動を伝えることで「曲が変わった」と認識でき、ダンスの見本動画にも集中できます。また、卓球台に取り付けて、台に弾む球の音を振動で感じながら卓球を行うことも体験しました。

今回体験した他にも「どれくらいの大きさで発音・発語しているか」や「環境音や日常で自分が出した音を確認する」など様々な場面で活用できそうです。



Antenna 本体・ボタン(マイク)



本体を腰、耳たぶ、服につける



リズムをとり、ダンス練習



マイクを卓球台に取り付ける

Antenna ストーリー「ろう学校篇」

<https://www.youtube.com/watch?v=U-x5jB3GE5U>